

### 東京地學協會記事

○例會 大正九年六月二十二日午後六時半より本會々

館に於て例會を開き左記講演ありたり、出席者は井上主幹、池上隆、伊木常誠、早坂徳四郎、六鶴保、西原鹿太郎、東條勝友、徳川侯爵、小倉勉、脇水鐵五郎、片山量平、金原信泰、高頭仁兵衛、中村精男、野田勢次郎、栗塚省吾、鞍智芳章、山根新次、小林儀一郎、清野信雄、志賀重昂、清水省吾等の會員其他傍聽者三十餘名ありたり。

一、廣東省に就て 理學士 小林儀一郎君

一、歐米最近狀況 陸軍中將 長岡 外史君

○評議員會 例會後、本會第一會議室に於て評議員會を開き井上主幹、伊木、徳川、中村、長岡、志賀、清水各評議員、栗塚監事出席の上左記諸氏の入會を承認せり

理學士菅原 公平(片山量平、野田勢次郎兩氏保薦)

理學士内藤 匡 (同 上)

吉田 博 (同 上)

文學士石田幹之助(福地信世、山崎直方兩氏保薦)

白土 大祐(井上禧之助、福地信世兩氏保薦)

河野 常吉(佐藤傳藏、福地信世兩氏保薦)

理學士伊原敬之助(井上禧之助、小林儀一郎兩氏保薦)

法學士神崎 正助(井上禧之助、福地信世兩氏保薦)

### 雜報

●鄭家屯に於ける獸皮集散 大正八年中、鄭家屯市場に集散したる獸皮は各種合計二十六萬二千餘枚にして内一萬枚以上に達したるものは騾馬皮、牛皮、羊皮

猫皮、黃皮、犬皮、兔子皮の七種にして其他驢皮、狼子皮、狼皮、狐皮、家鼠皮、貉子皮等を産出す、今以上列記したる各種皮類の産出數量竝に價格及主なる産地を示せば左の如し。

(イ)騾馬皮 本年中當市場に上市したる騾馬皮は總計三萬五千枚にして每枚の價格小洋銀七元五十仙前後とす其内鄭家屯及附近の蒙古人部落より出でたるもの一萬五千枚、洮南より一萬二千枚、白音打來より八千枚の入りありたるが内三千枚は鄭家屯にて鞣したる上夫々消費せられたるが殘數三萬二千枚は奉天に移出せられたり。

(ロ)牛皮 同年中當市場に集散したる生牛皮は合計四

萬五千枚にして内鄭家屯及附近蒙古人部落より二萬枚、洮南より一萬五千枚、白音打來より一萬枚の入市を見たるが其内大牛皮(十一斤以上)は一萬二千枚にして價格每斤小洋銀一元二十仙、中牛皮(十斤以上)一萬五千枚同じく一元、小牛皮(七、八斤以上)一萬枚同じく八十仙の相場なりとす、又胎牛皮と稱する四、五斤位の當歲牛皮は八千枚にして同じく每斤七、八十仙にて取引せられたり、而して此等牛皮の當地にて鞣皮せられたるは僅に二千枚弱にして他は奉天、大連並に營口に移出せられたり。

(ハ) 驢皮 驢皮は騾馬皮、牛皮に比して遙に少數にして鄭家屯一帶より二千枚、洮南より千五百枚、白音打來より千五百枚合計五千枚の入市ありたるに過ぎずして價格は每枚小洋銀五元内外にて取引せられたり、殆ど全數奉天に移出す。

(ニ) 羊皮 入市したる羊皮は總計十萬枚にして鄭家屯附近の蒙古人部落より五萬枚、洮南より三萬枚、白音打來より二萬枚の割合なるが其内一部を當地にて鞣し防寒用其他等に消費したる外大部は是を奉天に移出したり。

(ホ) 獾子皮 獾子皮は逐年産出減退の一方にして同年

中當市場に出でたるは僅に三百枚に過ぎずして鄭家屯及附近一帶より百枚、洮南より百五十枚、白音打來より五十枚の入荷ありたり、每枚一元五十仙内外の相場にして右三百枚の中當地皮舖にて鞣皮したるもの五十枚、他二百五十枚は奉天に移出せり。

(ヘ) 狼皮 狼皮は鄭家屯並に洮南附近一帶が逐年開墾せらるゝに伴れ産出減少の傾向著しく八年中に於ては僅に二百枚の入市を見たるに過ぎず内鄭家屯及附近蒙古人部落より七十枚、洮南より百枚、白音打來より三十枚にして洮南産品質尤も良しく時價大小平均十五元内外なりとす、而して當地にて鞣したるもの五十枚、奉天に移出したるもの百五十枚とす。

(ト) 猫皮 猫皮は鄭家屯及附近より産出するもの最も多くして洮南及白音打來より入市したるものを合計すれば一萬枚に達す、内當地皮舖にて鞣したるもの千五百枚にして生皮の儘奉天に移出したるもの八千五百枚とす、價格は鞣したるもの一枚小洋銀一元六、七十仙、生皮一元四、五十仙の相場なり。

(チ) 黄皮 鄭家屯一帶より一萬枚、洮南より八千枚、

白音打來より七千枚合計二萬五千枚の入市ありたり、價格は雄皮小洋銀三元、雌皮同一元五十仙の相場にして當時にて約五千枚を消費する外他は全部奉天に移出せらる。

(リ) 狐狸皮 本年中當地に入市したる狐狸皮は總計千五百枚にして内鄭家屯より三百枚、洮南より千枚、白音打來より二百枚とす、價格は一枚に付小洋銀二十七元乃至二十八、九元にして内二百枚は當地にて鞣したる外千三百枚は奉天に移出す。

(ヌ) 狗皮 狗皮は當地に集散する皮類中尤も重要なものにして防寒服又は防寒敷物として支那人中流以下に愛用せらる、而して八年中當市場に出でたるは總計二萬五千枚にして内鄭家屯及附近蒙古人落より一萬二千枚洮南より八千枚、白音打來より五千枚とす、價格は平均一枚小洋銀二元五十仙にして三千五百枚は當地にて鞣し二萬千五百枚は奉天へ移出せられたり。

(ル) 兔子皮 兔子皮は最も下賤なる皮にして下層社會の防寒品となり帽子、靴裏又は襟等に使用せらる、當地に集散したるもの總計一萬六千枚にして内鄭家屯及附近

の蒙古人部落より七千枚洮南より五千枚、白音打來より四千枚の入市を見たり、價格は捕獲の時期によりて異なるが春皮僅に六、七仙にして冬皮は約十仙内外なりとす本街にて鞣皮したるもの二千枚他の一萬四千枚は奉天に移出せられたり。

(ヲ) 家鼠皮 家鼠皮は鄭家屯より八百枚、洮南より五百枚、白音打來より二百枚合計千五百枚の入市を見たるが價格は毎枚五十仙見當なりとす、當地にて鞣皮したるもの二、三百枚にして他は全部奉天に移出したり。

(ヅ) 貉子皮 貉子皮は支那人防寒着として當地方にては極めて愛用せらる八年中の入市高は僅に千枚にして内鄭家屯及附近より四百枚、洮南より四百枚、白音打來より二百枚なりとす、價格は毎枚小洋銀十三元内外にして内當地にて鞣したるもの二百枚、奉天に移出したるもの八百枚とす。(大正九、五、二八附在鄭家屯帝國領事代理福領事報告)

● 山東省の落花生 山東省に於ける落花生の貿易

の發達は近來の事に屬し千九百九年獨逸商人之が輸出を圖り歐洲に於て需要を喚起してより其輸出漸次に増加し殊に彼等は青島の發展策として輸出に努めたるを以て産